



# 下関市環境基本計画年次報告（平成30年度）

下関市環境基本計画には、主要施策「140事業」を掲げています。

当計画には、計画の評価・検証を行うツールとして、事業効果を確認する「成果指標」、事業進捗を確認する「進捗指標」を設けています。

今回の年次報告は、成果指標や進捗指標及び主要施策140施策（141指標）に係る進捗評価を行うため、報告するものです。

## 成果指標

成果指標は14指標あり、目標年度を定めた指標に係る実績を検証しています。

基本目標	成果指標	現状(把握年度)	平成30年度実績	目標(目標年度)	基本目標	成果指標	現状(把握年度)	平成30年度実績	目標(目標年度)
豊かな自然環境の 保全とふれあいの 推進	「水辺とのふれあい」に関する満足度	27.7% (平成27年度)	-	36.7% (平成38年度)	環境負荷の少ない 循環型社会の構築	ごみ排出量	1,074g/人・日 (平成26年度)	1,035g/人・日	980g/人・日 (平成29年度)
	「里地、里山、里海とのふれあい」に関する満足度	36.7% (平成27年度)	-	41.4% (平成38年度)		ごみの再生利用率	21.8% (平成26年度)	23.1%	29% (平成29年度)
	「自然の生き物とのふれあい」に関する満足度	26.7% (平成27年度)	-	33.6% (平成38年度)	快適な生活空間の 確保	「まちの美しさと親しみ」に関する満足度	27.0% (平成27年度)	-	37.7% (平成38年度)
環境負荷の少ない 循環型社会の構築	「PM2.5など健康を損なう恐れのある大気汚染物質の状況」に関する満足度	29.8% (平成27年度)	-	43.4% (平成38年度)	未来につなぐ低炭 素の社会づくり	下関市域からの温室効果 ガス総排出量	3,660千t-CO2 (平成27年度)	3,614 (平成28年度)	2,962千t-CO2 (平成32年度)
	環境基準(大気質)の達成率	67% (平成26年度)	81% (平成30年度)	100% (平成38年度)		家庭部門:世帯あたりの温 室効果ガス排出量	-	-	基準年(1990年) 比25%削減(平成 32年度)
	環境基準(河川)の達成率	100% (平成26年度)	100% (平成30年度)	100% (平成38年度)		業務部門:延床面積あたりの 温室効果ガス排出量	-	-	基準年(1990年) 比18%削減(平成 32年度)
	環境基準(海域)の達成率	95% (平成26年度)	100% (平成30年度)	100% (平成38年度)	環境保全の仕組み づくり	環境分野に取り組んでいる 市民活動団体の数	563団体 (平成28年度)	-	563団体 (平成38年度)

## 進捗指標(43指標)

進捗状況	指標数	
	H29年度	H30年度
順調	2指標	13指標
ほぼ順調	26指標	12指標
やや遅延	7指標	8指標
遅延	7指標	10指標
見直し、その他	1指標	0指標

「順調」が11指標増加したものの、「順調」「ほぼ順調」の合計は25指標で、前年度に比べて3指標減少で、全体の58%。  
「やや遅延」「遅延」の合計は18指標で、前年度に比べて4指標増加。

## 主要施策140施策(141指標)

進捗状況	指標数	
	H29年度	H30年度
A(ほぼ順調)	89指標	88指標
B(半分程度は達成した)	26指標	25指標
C(着手したが進んでいない)	16指標	14指標
D(未着手)	10指標	11指標
施策終了等	0指標	3指標

「ほぼ順調」「半分程度は達成した」指標の合計は113指標で、前年度比2指標減少したものの、全体の80%を占めている。  
「着手したが進んでいない」「未着手」の指標の合計は25指標で、前年度比と同等。

# 環境部関連 10施策

## ① 海岸漂着ごみ発生抑制のための環境啓発及び環境教育

小学生の「ごみを捨てない心、海の環境を守ろうとする心」を育むもので下関市誠意小学校に依頼し、海岸漂着物を回収・分別し、種類別に個数及び重量を調査することにより、プラスチック等の人工物による海辺の汚染実態を把握した。



海岸漂着物調査

## ② ホタル保護及び啓発

小学生に自然環境を体験学習してもらうことを目的とし、豊田町のホタル祭においてホタルクイズを行った。

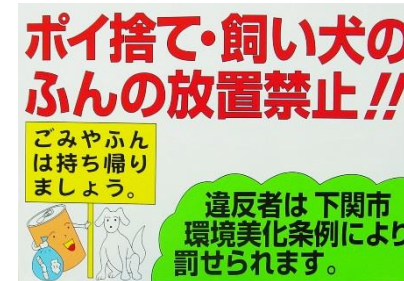
市内外の小学生が約100名参加した。



ホタルクイズの様子

## ③ 啓発用看板の作成・配付

環境美化条例に基づく、ポイ捨て禁止看板を作成し市民等に配付し、環境美化を啓発した。



ポイ捨て禁止看板

## ④ 下関市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の推進

空調利用の減少など食事による省エネ効果を狙うとともに、クールビズやウォームビズのPRを目的としたランチを市役所本庁舎新館4階食堂において販売した。



# 環境部関連 10施策

## ⑤ 次世代自動車の普及促進

電気自動車の普及を促進することで、自動車から排出される二酸化炭素を大幅に削減し、本市の低炭素化社会実現を図るため、電気自動車充電ネットワークの整備に取り組みました。

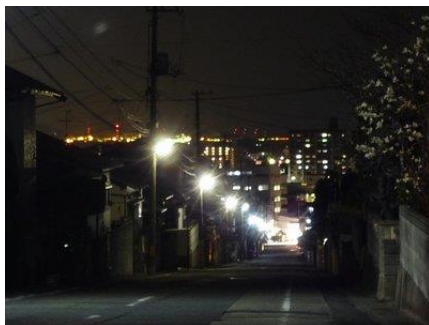


環境部 電気自動車

## ⑥ LED防犯灯の設置補助制度

自治会が設置(管理)する防犯灯のLED化費用の補助を実施しました。

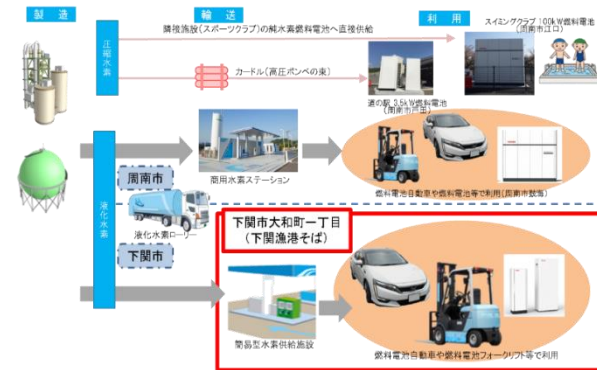
【制度概要】  
6,000円/灯を限度に、設置費用の1/3のいずれか低い額を補助。



LED防犯灯

## ⑦ 水素エネルギーの利用促進

山口県の周南コンビナートに立地する苛性ソーダ工場で発生する未利用で高純度の副生水素を回収し、周南地域で燃料電池自動車や燃料電池フォークリフト、純水素型燃料電池等で利用する実証を行い、下関市域においても、当該水素を液化、輸送して同様の利用を行う地域間連携モデル実証を行う。



## ⑧ 地球温暖化対策の促進

6月の環境月間に市役所新館1階に環境関連の看板を設置し市民に環境に配慮した活動を啓発した。



パネル展示

# 環境部関連 10施策

## ⑨ リサイクルプラザにおける各種催しの開催

子どもたちが楽しく遊びながら環境問題に取り組むことの大切さを学ぶ場としての市民啓発イベント「サマー・キッズエコフェスタ」を開催した。



水槽展示

## ⑩ ごみの減量、再資源化に関する普及啓発

市内在住の小学1年生から小学6年生とその保護者を対象に親子リサイクル教室を通じて、ごみ減量等の重要性について理解を深めた。



親子リサイクル教室

